

令和3年度（2021年度）予算執行方針

1 予算の概要

本年度の予算は、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市民生活・地域経済を回復し、「ポストコロナ時代」の「新たな日常」を構築するとともに、令和2年度（2020年度）2月補正予算に前倒しして計上した新型コロナ関連事業と一体で効果効率的に執行することにより、切れ目なく市民の健康と生活を守る予算としたところである。

また、「八王子ビジョン2022」の総仕上げに向け、計画期間最終年となる令和4年度（2022年度）と一体的に24か月を見通した事業展開を考えた上で、1年次目に必要な経費を計上するとともに、輝く未来への投資となる八王子駅南口集いの拠点整備や新保健所の整備、給食センターの整備など、大型事業を着実に推進し、「夢と希望が持てるまち」の実現を目指す予算とした。

2 予算執行の考え方

本年度は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、引き続き、感染拡大防止に全力で取り組むとともに、打撃を受けた市民生活・地域経済の回復に努めなければならない。

そこで、予算計上した歳入はもとより、ふるさと納税を利用したクラウドファンディングなど創意工夫による新たな歳入確保に努めるとともに、キャッシュレス決済をはじめとする、多様な納付手段の導入を推進すること。また、法的措置を前提とした収入事務を行うことで、効果的な滞納整理と歳入の確保を図ること。

歳出では、予算計上した全ての事業について、最大限の感染防止策を講じた上で確実に実施するとともに、効果が速やかに得られるよう事業を展開すること。また、ウィズコロナ時代において、市民が安全に安心して暮らせるよう、刻々と変化する社会情勢に迅速に対応し、かつ柔軟に取り組むこととする。

以上のことを踏まえ、次に定める基本方針に従い、予算執行にあたること。

基本方針

- 1 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、想定できない課題に対しても迅速に対応できるよう国や東京都の動向を注視するとともに、市民及び事業者の声を積極的に聴き、直面する課題に対し、基礎自治体としての役割を常に考え、速やかに、きめ細かく対応すること。
- 2 急速に変化する社会・経済状況に的確に対応し、「ポストコロナ時代」の「新たな日常」を構築するため、デジタルトランスフォーメーションを推進し、行政のデジタル化・オンライン化に迅速に取り組むこと。
- 3 予算計上した事業については、感染防止策を徹底し、想定した効果を得られるよう確実に実施すること。また、事業実施の際には、実施手法を再検討し、より効果的な手法がある場合は、エビデンスに基づき再構築を行うこと。
- 4 歳入においては、国や東京都の動向を注視し、最新の情報を捕捉することで、予算計上した歳入を確実に確保することはもとより、地域の課題解決に向けた取組に対する補助制度創設を提言するなど、新たな歳入確保、増収に向けて積極的に取り組むこと。
- 5 議会での予算審議を踏まえ、特に重要な意見・要望については、速やかに検討し、適宜政策決定を受けるなど、柔軟さと俊敏さをもって令和3年度（2021年度）の執行、あるいは今後の補正予算編成において対応すること。